

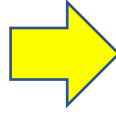
# ～「ここすき！」学びの記録～

## 1歳児は研究者

\* 1歳8ヶ月のMさん。真剣な表情で、何をしているのでしょうか？



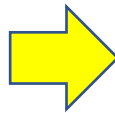
1) まず、卵を全部トレーに移して容器1を空にします。



2) 容器2の中に入れて大きさを比べます。  
「入らないから、容器1の方が大きい！」



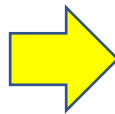
3) 今度は容器3を空にします。



4) 容器2の中に入れて大きさを比べます。  
「ピッタリ重なった！容器3 = 容器2だ！」



5) あれ！この形は・・・



6) やっぱり！この部分にピッタリ重なった！

なんと、1歳児のMさんは、さまざまなモノの「大きさ」や「形」を比較し、「面積・容積の大小」をみずから実験し、研究していたのです。

1歳児は、「入れたり出したり移したり」「並べる」「重ねる」などの行動を、真剣な表情で何度も繰り返します。一見すると、ただの「いたずら」のように見えてしまうので、大人からしたら「やめなさい」と言いたくなる場面です。でも、ちょっと待ってください。子どもの思いに心を重ねて見守っていると、こうした行動の背後に、1歳児の知的な好奇心や粘り強い探究心が見えてきます。こうした場面で言われる「やめなさい」という一言は、子どもにとっては「考えることをやめなさい」と言われるのと同じことですから、なかなかやめられないわけです。

Mさんのこの実験・研究はどれくらいの時間続いたと思いますか？なんと1時間以上です。それを支えたのは、「入れたり出したり」「並べたり重ねたり」ができる環境と、子どもが真剣に探求していることを否定せず、温かく見守っているお母さまのやさしいまなざしでした。